

- 問1 奈良時代の正倉院に収められている工芸品のもとになった、ユーラシア大陸を横断する交易路を何という？
- 問2 奈良時代、聖武天皇が仏教による国家の守護を目指して、国分寺の総本山として都に建立させた寺院は何という？
- 問3 遣唐使が日本へ招いた、苦難の末に来日して日本の仏教に大きな影響を与えた僧侶は誰？
- 問4 聖武天皇が鎮護国家の象徴として建立を命じた、奈良にある寺院を何という？
- 問5 唐の長安を模して造られ、奈良時代に都が置かれた場所を何という？
- 問6 大伴家持が活躍し、万葉集がまとめられたのは何時代？
- 問7 行基が協力したことで知られる、聖武天皇が国家の安泰を願って奈良に造営した巨大な仏像を何という？
- 問8 律令国家の統治体系として、中央から地方の国に派遣された役人を何という？
- 問9 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？
- 問10 郡司が指揮下に入っていた、中央から派遣された地方長官のことを何という？
- 問11 シルクロードを経て伝わった宝物や唐の工芸品が収められ、現在も東大寺にある施設は何という？
- 問12 天皇を中心として、国司や郡司などの仕組みを整えて全国を支配した国家体制を何という？
- 問13 人口増加により不足し、開墾のきっかけとなった、政府が農民に与えた土地を何という？
- 問14 万葉集にある歌の序文から引用された、現在の日本の元号を何という？
- 問15 元明天皇が藤原京から都を移し、奈良時代が始まった年号は何という？
- 問16 唐の進んだ政治制度を取り入れ、戸籍に基づき天皇を中心とした強力な国家体制を整えるための法体系を何という？
- 問17 710年、現在の奈良県に建設され、奈良時代の政治の中心となった都を何という？
- 問18 防人たちが詠んだ歌などが収められている、日本最古の歌集を何という？
- 問19 鎮護国家の思想のもとで制作された、興福寺にあるこの時代を代表する仏教彫刻を何という？
- 問20 約4500首もの多様な階層の歌が収められている、日本最古の歌集を何という？
- 問21 律令制において、中央政府から地方に派遣され、その地域の行政・司法・軍事を統括した役職を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え シルクロード	シルクロードは「絹の道」とも呼ばれ、中国から中央アジアを経て地中海世界へとつながる壮大なルートです。この道を通じて、ガラス製品やペルシャ風の文様、五絃琵琶といった西アジアの楽器などが日本へ伝わりました。正倉院は、聖武天皇ゆかりの品々を納めた宝庫であり、国際色豊かな天平文化を今に伝える貴重なタイムカプセルとなっています。
問2	答え 東大寺	聖武天皇の命により、各国の国分寺を束ねる総本山として建設されました。特に本尊である大仏の建立は、当時の国家プロジェクトとして非常に大きな規模で行われました。
問3	答え 鑑真	鑑真は唐で名高い高僧でしたが、日本の僧侶からの要請に応え、5回もの失敗や失明という苦難を乗り越えて6回目によりやく来日を果たしました。奈良の東大寺に戒壇を築き、多くの僧に戒律を授けました。また、その後には唐招提寺を開いています。
問4	答え 東大寺	東大寺は、743年の大仏造立の詔により、聖武天皇が中心となって建立されました。この寺は全国の国分寺の総本山としての役割を担い、鎮護国家の象徴として位置づけられました。完成した大仏は、当時の人々の信仰心を集め、国家統一の精神的な拠り所となりました。
問5	答え 平城京	710年に飛鳥から遷都された平城京は、当時の中国である唐の都・長安を模して作られました。道が碁盤の目状に整備され、天皇が住む宮殿を中心に官庁が並び、本格的な計画都市でした。ここを拠点として、全国の国司を指揮し、租税を徴収する律令政治が行われました。
問6	答え 奈良時代	奈良時代は、仏教文化が花開くとともに、国史の編纂や文学作品の執筆が盛んに行われた時期です。歌人である大伴家持はこの時代の末期に活躍し、彼を中心に日本最古の歌集である『万葉集』が編纂されました。この時代、国家が整い、大陸の文化を吸収しながら日本独自の個性を確立しようという気運が強まっていました。
問7	答え 東大寺の大仏	「東大寺の大仏」は、鎮護国家の精神を象徴する巨大な銅像です。完成には膨大な費用と人員が必要であり、聖武天皇は人望の厚い僧・行基に協力を仰ぎました。多くの民衆や貴族が造営に関わり、ようやく完成しました。
問8	答え 国司	国司は、その土地の税の徴収や戸籍の管理、裁判など、地方行政全般を担いました。任期を定めて中央から派遣することで、地方での権力固着を防ぐ仕組みとなっていました。
問9	答え 班田収授法	班田収授法は、6歳以上の男女に口分田という田地を貸し与え、その人が亡くなれば国に返させる制度です。この田地から収穫された米の一部が税として国家に納められました。
問10	答え 国司	国司は、中央政府の意向を地方へ伝え、郡司を管理することで徴税や戸籍管理を行いました。郡司の実務を監視し、定期的に中央へ報告する義務がありました。
問11	答え 正倉院	聖武天皇が亡くなった際、光明皇后が天皇をしのんで東大寺に奉納した品々を収めた校倉造りの建物です。楽器や鏡、美術品など、当時の国際交流を物語る非常に貴重な宝物が数多く保管されています。
問12	答え 律令国家	律令国家とは、法律（律と令）に基づき、官僚組織を整えて全国を支配する体制です。中央には太政官などの行政機関、地方には国・郡・里を設置し、中央から役人を派遣しました。この仕組みにより、戸籍を作成して人々に税を課し、中央政府が全国の土地と人民を把握する支配構造を実現しました。
問13	答え 口分田	口分田（くぶんでん）は、戸籍に基づき、6歳以上のすべての人々に政府が支給した耕作地です。農民はこの田から上がる収穫に対して税（租）を納める義務がありました。しかし、奈良時代に入ると人口が増加したため、国家が支給できる田が足りなくなり、新たな開墾が進められる要因となりました。
問14	答え 令和	「令和」は、日本で初めて日本の古典（国書）から選ばれた元号です。奈良時代の歌人である大伴旅人らが、梅の花を愛でる宴で詠んだ歌の序文にある「初春の令月にして、気淑く風和らぎ」という一節から引用されました。「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められています。
問15	答え 710年	710年、元明天皇は藤原京から平城京へ都を移しました。平城京は、大陸の都にならった碁盤の目状の区画（条坊制）を持ち、宮殿を中心に政治機能が集約された都市です。これにより、天皇を中心とした国家の威信を内外に示すとともに、官僚機構による効率的な統治が可能となりました。
問16	答え 中央集権	唐の律令制度を模範として、戸籍を作成し、国司を地方に派遣して全国を支配する体制を整えました。天皇が全権を握り、官僚を通じて地方まで法律や税を平等に行き渡らせる政治構造です。
問17	答え 平城京	710年に元明天皇によって遷都された計画都市です。中国の唐の都である長安を手本にして設計され、整然とした道路が碁盤の目状に配置されていました。政治・経済の中心地として繁栄し、遣唐使などによって国際的な文化が花開きました。
問18	答え 万葉集	万葉集は、約4500首の歌を収めた日本最古の歌集です。特徴は、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった一般庶民の素朴で力強い感情がそのまま記されている点にあります。防人が詠んだ「防人の歌」には、国を守る誇りと家族への思慕が混ざり合い、当時の社会の現実がリアルに表現されています。
問19	答え 阿修羅像	奈良の興福寺にある「八部衆像」の一つで、乾漆造という手法で作られています。少年のように憂いを含んだ繊細な表情が特徴で、日本だけでなく世界的に非常に高く評価されている傑作です。
問20	答え 万葉集	万葉集は、奈良時代末期にまとめられた日本最古の和歌集です。約4500首という膨大な歌が収められており、その中には天皇や貴族だけでなく、兵士である防人や農民といった、普段は歴史の記録に残りにくい人々の歌も含まれていることが大きな特徴です。素朴で力強い感情表現が多用されていることから、当時の人々の息吹を直接感じることができる資料です。
問21	答え 国司	「国司」は、朝廷から地方の「国」に派遣される長官です。その国の政治・裁判・軍事など全般を管理する非常に重要な職務でした。任期があり、現地の実務を担う郡司を指揮して効率的な地方支配を行いました。